

ブリ類のハダムシ症に対するDNAワクチンの開発

【研究のポイント】

【ハダムシ症って？】

ハダムシ類（ブリハダムシ、シンハダムシなど）による皮膚寄生症です。ハダムシ類は人間には無害ですが、魚の成長を遅らせたり、魚が感染症にかかりやすくなったりします。



ブリハダムシ

【現在の対策は？】

- ・水産用医薬品として承認された駆虫薬を魚に投与。
- ・定期的な淡水浴（または薬浴）による駆虫作業（多い時期には月2回程度）。

重労働（涙）！

薬剤に頼らず、かつ労力や経費を削減できる技術が求められています。

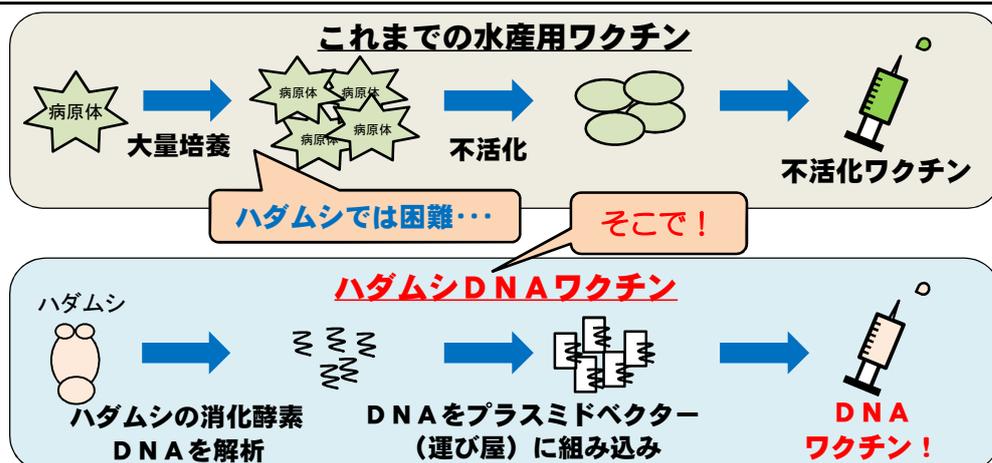
そこで！

ワクチン開発研究を行い、試作ワクチンを接種したところ、ハダムシ寄生数の軽減が確認されました。



ヒラマサに寄生するハダムシ類

【研究の成果】



東京海洋大学と連携し、ハダムシDNAワクチンを試作してヒラマサに接種したところ、ハダムシ寄生数の減少（図1）、生残率の向上（図2）が認められました。

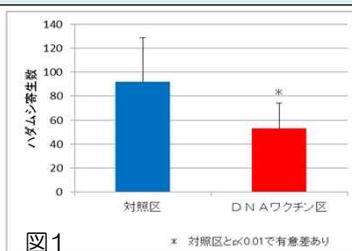


図1

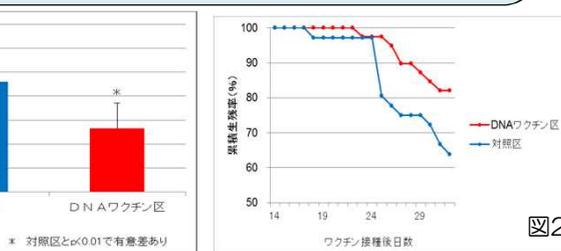


図2

【関係者の声】



大分県水産養殖協議会青年部会
会長 富高吉幸氏

ハダムシなどの寄生虫駆除は我々養殖業者にとって非常に重労働です。それが少しでも軽減されればとても助かります。また薬剤の使用量を減らすことで、食の安心への寄与はもちろんのこと、コスト削減にもつながります。DNAワクチン自体がたいへん画期的な方法であり、実用化されて現場で効果が得られる日がたいへん楽しみです！

【連絡先】

担当: 農林水産研究指導センター水産研究部 養殖環境チーム
TEL: 0972-32-2155
住所: 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6